

広島城南ロータリークラブ



THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA-JOUNAN

広島城南 RC 会長方針『ロータリアンとしての誇りと自覚を持ち、意義ある活動を実施しよう』

会長/佐々木優子 副会長/水口 弘士 幹事/竹村 有右 クラブ会報編集委員長/藤原 智昭
 例会場/シェラトングランドホテル広島 広島市東区若草町 12-1 例会日/金曜日 事務局/リーガロイヤルホテル広島 <http://hj->

第 1401 回例会 2026 年 8 月 7 日

【記念日（会員誕生日）】

- 竹岡龍太郎 会員 8 月 11 日
- 田中 清峰 会員 8 月 15 日
- 正木 英生 名誉会員 8 月 20 日

【記念日（結婚記念日）】

- レーミンアイン 会員 8 月 30 日

【記念日（配偶者誕生日）】

- 橋沢 宏弥 会員 未歩様 8 月 19 日

【連続出席者の披露】

- 木本 博之 会員 16 年連続 100%
- 花島 司 会員 10 年連続 100%
- 高藤 孝一 会員 10 年連続 100%

【会長時間】

はじめに、八月四日の記念碑清掃にご参加いただきました皆様、厳しい暑さの中、まことにありがとうございました。

これまで私は、「日本人としての生き方」「社会性」、そして「未来を担う子供達の社会性」についてお話ししてまいりました。本日は、平和について申し上げたいと思います。

昨日、八月六日は、広島に原子爆弾が投下された日です。皆様の中にも、ご親族を亡くされた方がおられることと思います。私達はこの日を、決して忘れてはなりません。

昨年、被爆八十年という大きな節目に、我々のクラブは創立三十周年を迎えました。その記念事業として、広島市とともに、平和への願いを込めた記念の石碑をつくり、寄贈することができました。

この事業に携わっていただきました花島会員、畝本会員には、多大なるご努力とお力添えをいただいたと伺っております。この場をお借りして、あらためて御礼を申し上げます。

記念碑は、石や形を残すことが目的ではありません。そこに込められた「平和を忘れない」「命を大切にすること」という思いを次の世代へ伝えていくことにこそ、本当の意味があるのだと思います。

平和とは、戦争がないというだけのことではなく、「人を思いやる心」を持ち続けることだと思います。

- 挨拶を交わすこと
- 人の話をよく聞くこと
- 人との違いを認め合うこと

その一つひとつが、平和な社会をつくる土台になるのだと思います。

八月六日という日に、命の尊さと平和のありがたさをあらためて心に刻み、未来の子供達に誇れる社会を築いてまいりましょう。

記念碑は、過去を振り返るためだけのものではなく、未来の子供達に生きる喜びと、平和を守る責任を伝えていく、大切なものであると思います。

【幹事会務報告】

1. ボックス配布物

- 『ロータリーの友』8月号
- 9月例会のご案内

出欠について回答が分かる方は、お帰りの際に回答用紙を受付に提出ください。

- 休会のご案内
- 卓話資料

2. お知らせ

- 8月14日・21日の例会は休会。次回例会は8月28日になります。お間違えのないようお願いします。
- 例会終了後、定例理事会を4F「華」にて開催。関係者の方はご出席をお願いします。

【委員会・同好会報告】

1. プログラム・出席委員会 古江委員長

2. 広報・ロータリーの友誌委員会 松本委員長

【ニコニコ箱】

佐々木優子 (W)

暑い中 記念碑のおそうじ たくさんの参加 ありがとう
ございました。

竹村 有右

今日は、会員増強・維持委員会 門田委員長、よろしくお願いいたします。

門田 充慶 (H)

① 本日、会員増強・維持委員会フォーラムをさせていただきます。よろしくお願いいたします。

② 全国高校ギター・マンドリン音楽コンクールで、次女が所属する広島女学院マンドリン部が文部科学大臣賞・最優秀賞を受賞しました。感動しました！

山本 博之 (大枚)

2026 年シェラトングループ 100 ホテル内で、従業員満足度調査で、広島は 90 点で日本で 1 位となりました。4 年連続 1 位です。

戸田 拓夫

原爆の日に静かな一日となったので出宝します。

山内 将 (W)

① 毎日暑い日が続きますが、みなさん体調に気を付けて夏を乗り切りましょう！

② 門田さん、今日のフォーラム、よろしく願います！

合計 21,000 円

【プログラム】

会員卓話「会員増強について」

卓話者：會員增強・維持委員会 門田 充慶委員長



第 1402 回例会 2026 年 8 月 28 日**お客様の紹介**

米山奨学生 ヌルル・コイダさん

【記念日（入会月）】

木本 博之 会員 平成 22 年 8 月 6 日入会

花島 司 会員 平成 28 年 8 月 19 日入会

高藤 孝一 会員 平成 28 年 8 月 19 日入会

藤原 智昭 会員 平成 29 年 8 月 4 日入会

【記念日（創業月）】

高藤 孝一 会員 平成 26 年 8 月 1 日創業

(株)ファーストスタッフ

四つのテスト唱和

職業奉仕プロジェクトチーム 田中地宏保 委員長

【会長時間】

みなさんこんにちは。本日の卓話は、前年度会員増強・維持委員会の南委員長、高藤幹事をお願いしております。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、皆さんに一つ問いかけをさせていただきたいと思います。皆さんは今の広島城南ロータリーの例会に対して「魅力がある」と感じておられるでしょうか。また、この例会をより魅力あるものにするために、どうしたらよいかと考えてみたことはおありでしょうか。

私は今年度の会長方針の中に、「魅力ある例会」をつくることで皆さんと共に歩みたい、という思いを込めさせていただきました。その方向性はお示してきたつもりでおりますが、本日は逆に、皆様にとっての魅力ある例会とはどのようなものなのか、皆さんからお力をいただくためのお話にさせていただきたいと思っております。

今、この例会に「義務で来ている」と思っていられっしゃる方はおられるでしょうか。「行かなければいけない」ではなく、「楽しみだ」と思っていたでいるでしょうか。例会という場に皆さんが望んでおられることは、そこへ行けば、人として、そして社会人としての新しい気づきが得られる、そういうものではないかと思えます。ここに来たらそういう話が聞ける、という気持ちを少しでも持っていいただければ、例会の場を皆さんと共に楽しもうと思える時間になるのではないのでしょうか。

また、会員同士がわだかまりなく本気で話ができる。ロータリーは、年齢の高い方もお若い方も、年齢の差なく集うことができる唯一の会ではないかと感じています。人の言葉を聞くことで力をもらい、今まで経験していないことを聞くことで、人としての刺激を求めることもできる。そういう機会が、このロータリーの中にはあるのだと思います。

もし今までの例会に何か物足りなさをお持ちであれば、それは皆さんがこの広島城南ロータリー、我がクラブに少しでもなじもうとしてくださっているからこそだと思います。どうぞ理事会なり、会長・幹事にいろいろなご提案をお寄せください。そういう場所があってもよいのではないかと感じております。幹部だけが会を運営するものではありません。この広島城南ロータリーという組織で、今 38 名。この 38 名の皆さんが、ここに集うことを楽しいね、来てよかったねと思えるような環境づくりをしていくためには、お一人おひとりのお気持ちを我々が感じ取ることでできる機会をたくさん持つことのほうが大事なのではないかと考えております。

自分自身が参加できる例会にするために、人としてどのような形で関わったら共に歩けるのか。その気持ちをみんなに伝える機会をもっと持てるようなプログラムを、これから研究しながらつくってまいります。新しいこれからの広島城南ロータリーとして、楽しい、魅力のある会を作れるよう、皆さんお一人おひとりのご意見を大事にさせていただきたいと思っております。会長一人の意見だけで物事ができるものではございません。皆様のご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

以上 会長時間とさせていただきます。

米山功労者表彰

第 1 回 松苗 弥生 会員 山内 将 会員

【幹事会務報告】**1. ボックス配布物**

- ・ 3RC 合同夜間例会のご案内

とき：10 月 19 日（月）※10 月 23 日の例会が 19 日に変更となります。

ところ：ANA クラウンプラザホテル広島 3 階「オーキッド」

ホストクラブ：広島東南ロータリークラブ

※出欠についてご回答が分かる方は、お帰りの際に回答用紙を受付へご提出願います。

- ・第2回理事会議事録および持ち回り理事会議事録
- ・会報7月号（希望者のみ）
- ・本日の卓話資料

【委員会・同好会報告】

1. プログラム・出席委員会 古江委員長
2. 親睦活動委員会 宮内委員長 10月19日（月）3RC 合同夜間例会について

【ニコニコ箱】

二上 真也

本日の卓話、南さん、高藤さん よろしくお願ひします。

古江 暢敏(W)

いつもお世話になっています。古江です。本日卓話をして頂ける、高藤会員、南会員、大変楽しみにしています。宜しくお願い致します。

山本 博之（大枚）

報告が二つあります。

1. 3階 宴会場（美波）の改装では、大変ご迷惑をお掛けしました。お陰様で無事に終了しました。大変綺麗になっています。
2. シェラトンホテルグループ国内約120軒では、日頃より奉仕活動、サステナビリティ活動、文化活動を強化しています。このたび、私はその様な活動の日本、グアムの代表に任命を受けました。世界のシェラトングループに、日本の活動をアピールして参ります。

田中地宏保(W)

10月末、東京ビッグサイトでジムトフ(JIM TOF)展示会に機械を出展することになりました。地区大会に出席できなくなり、すみません。

南 真一(W)

本日、高藤さんの前座として、卓話をさせていただきます。宜しくお願い致します。

戸田 拓夫(W)

最近、やたら道路が混むので出宝致します。

南さん、高藤さん、本日の卓話 よろしくお願ひ致します。

門田 充慶(T)

前SAA長の門田です。ニコニコ箱を読むのが好きだと言ったら、また読ませてもらうことになりました。嬉しいです。本日の卓話、会員増強についてです。南さん、高藤さんよろしくお願い致します。

合計 24,000 円

愛の100円箱 4,500 円

【プログラム】

卓題：「会員増強について」

卓話者：前年度 会員増強・維持委員会 南 真一 委員長・高藤 孝一 幹事

南 真一 前年度会員増強・維持委員長

会員増強委員長を終えて

「会員増強の難しさと、これからのロータリー ー皆さん、こんにちは。

本日は、会員増強委員長を終えて、私自身が感じたことをお話しさせていただきます。

委員長になる前は、正直なところ、

「会員を増やせばいい」

「知り合いに声をかければいい」

そんなふうに、少し簡単に考えていたところがありました。

しかし、実際に一年間、会員増強に取り組んでみると、これが思っていた以上に難しい。

そして、単純に「人をいれる」という問題ではないことに気づきました。

今日は、私が委員長を経験して感じた「会員増強の難しさ」、そして「今の時代の流れ」、最後に「これからロータリーがどうあるべきか」について、私なりの思いをお話しさせていただきたいと思います。

1. 会員増強は、なぜ難しいのか

一番感じたのは

「ロータリーに入ってください」と言うだけでは、人は入らない。

ということです。

私たちの世代では、ロータリークラブに入ることは、ある意味で一つのステータスでもありました。

経営者になればロータリー。

地域のリーダーになればロータリー。

先輩から誘われれば、それをきっかけに入会する。

そういう時代がありました。

しかし、今は違います。

特に若い経営者の皆さんは、仕事の時間を非常に大切にしています。

「ロータリーに入ると何が得られるんですか？」

「毎月何回集まるんですか？」

「仕事に役立つんですか？」

「自分の時間を使ってまで参加する意味がありますか？」

こういう考え方が普通になっています。

これは、若い人が冷たいわけでも、地域活動に関心がないわけでもありません。

時代そのものが変わったのだと思います。

2. 今の時代は「所属」より「価値」

昔は、

「どこに所属しているか」

が重要でした。

しかし今は、

「そこに所属することで、自分にどんな価値があるのか」

が問われる時代です。

SNS を見れば、世界中の人とつながることができます。

異業種の人と知り合うこともできます。

情報もインターネットですぐ手に入ります。

昔ならロータリーに入らなければ出会えなかった人、得られなかった情報が、今では別の方法でも得られるようになりました。

だからこそ、私たちは考えなければいけません。

「ロータリーでなければ得られないものは何なのか」
ここが、これからの会員増強の大きなポイントだと思います。

3. 会員を増やすことだけが目的ではない

会員増強委員長をやっている、もう一つ感じたことがあります。

それは、

「人数を増やすことだけを目標にしてはいけない」
ということです。

もちろん、会員数は大切です。

人数が減れば、活動そのものが難しくなります。

しかし、無理に入会してもらって、例会に来ない。
活動に参加しない。

数年で退会してしまう。

これでは本当の意味で会員増強とは言えません。

大切なのは、

「入りたいと思ってもらうこと」

そして、

「入ってよかったと思ってもらうこと」

だと思います。

入会した人が、

「この人たちと付き合えてよかった」

「この仲間に出会えてよかった」

「ロータリーに入って自分自身が成長できた」

そう思えるクラブをつくること。

それが結果として会員増強につながるのではないで
しょうか。

4. 若い世代に、私たちは何を伝えるのか

これから特に重要なのが、若い世代です。

若い経営者に、

「ロータリーは昔からこうだから」

「昔はこうだった」

と言っても、なかなか響きません。

私たちが伝えるべきなのは、過去ではなく、

「これからのロータリーに何ができるのか」

だと思います。

例えば、経営者同士が本音で相談できる場所。

仕事だけではなく、人生についても相談できる仲間。

異業種との交流。

地域社会への貢献。

そして、普段の仕事だけでは絶対に会えない人との
出会い。

こうしたものには、今の時代でも大きな価値があり
ます。

特に SNS などでは、人と簡単につながることができます。

でも、

「本当に困ったときに相談できる人」

をつくることは、簡単ではありません。

私は、ここにロータリーの大きな価値があると思っ
ています。

5. 「会員を探す」から「クラブを選ばれる場所にする」

会員増強というと、

「誰か入ってくれる人はいないか」

と、外に目を向けがちです。

もちろん、それが必要です。

しかし、それと同時に、

「このクラブに入りたいと思ってもらえるクラブになっているか」

を考える必要があります。

例会は楽しいのか。

新しく入った人が居場所を感じられるのか。

先輩ばかりで若い人が発言しにくくなっていないか。

新入会員にきちんと声をかけているか。

ロータリーの活動が、一部の人だけのものになっていないか。

こうしたことを一つ一つ見直す必要があります。

6. これからは「増やす」より「育てる」

私は、これからの会員増強は、

「入会者を増やす」ことと同時に「会員を育てる」ことが重要だと思います。

新しく入った人が、何年も続けてくれる。

そして、その人が次の人を誘ってくれる。

これが一番強い会員増強です。

つまり、

「会員が会員を呼ぶクラブ」

をつくることです。

そのためには、新入会員を放っておかないこと。

積極的に声をかける。

一緒に活動する。

ロータリーの楽しさを知ってもらう。

そして、「自分もこのクラブの一員なんだ」と感じてもらう。

これが非常に大切だと思います。

7. 委員長を終えて思うこと

私自身、会員増強委員長を経験して、

「会員を増やす」ということの難しさを、改めて実感しました。

声をかけても、断られることがあります。

タイミングが合わないこともあります。

仕事が忙しいからと断られることもあります。

家族との時間を優先したいという人もいます。

それは当然のことだと思います。

だからこそ、私たちが変えていかなければいけないのは、「どうやって入会させるか」ではなく、「どうすればロータリーに入りたいと思ってもらえるか」なのではないでしょうか。

8. 最後に

ロータリーには長い歴史があります。

その歴史は、私たちにとって大きな財産です。

しかし、

歴史があることと、未来があることは別です。

過去を大切にしながらも、時代に合わせて変えていく。

私は、それがこれからのロータリーには必要だと思います。

会員増強は、委員長だけの仕事ではありません。

クラブ全員の仕事です。

一人が一人を誘う。

それだけでも、クラブは変わります。

そして、誘う前に、

「自分自身がロータリーを楽しんでいるか」

これが一番大切なのかもしれません。

自分が楽しくないものを、人に勧めることはできません。

逆に、

「ロータリーに入ってよかった」

「この仲間と出会えてよかった」

と自分たちが心から思えば、その気持ちは必ず相手にも伝わると思います。

会員増強委員長という役を終えて、私は改めてそう感じました。

これからも、会員を「増やす」だけではなく、

「選ばれるロータリー」

「続けたいと思えるロータリー」

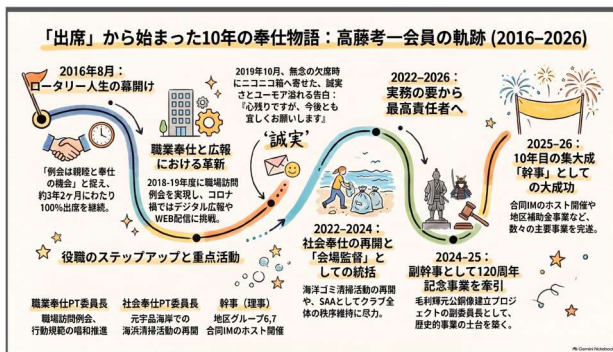
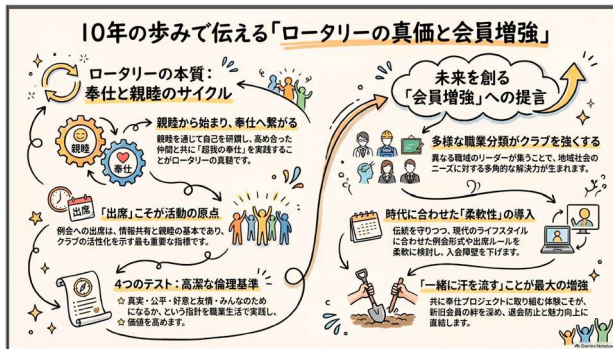
「仲間を誘いたくなるロータリー」

を、皆さんと一緒につくっていければと思います。

一年間、会員増強委員長として活動させていただいたことに感謝申し上げ、私の卓話とさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。

高藤 孝一前年度幹事



* 創立 30 周年記念事業 記念碑清掃

8 月 4 日 (火) 11:30~11 名参加して開催されました。

